

新刊案内

1. 田中典幸 1994. 根の研究—論文集—, 自費出版.

田中典幸先生が昨年春に佐賀大学農学部を定年退官されたのを機会に、在任期間中に発表された研究論文および総説を編集され、自費出版されたものである。合計65編の論文および総説は、テーマごとに以下のように整理されている。

第I編 マメ科作物の根の生育(論文17編)、第II編 ダイズにおける根系構造の解析(論文7編)、第III編 ダイズの水田移植と根系(論文4編)、第IV編 イネ科作物の根の生育(論文19編)、第V編 多収稲の根群(論文4編)、第VI編 根系の調査方法(論文8編)、第VII編 水・湿生植物の根系(論文4編)、第VIII編 総説(総説2編)

最後に資料として水稻30点およびマメ類42点の根系写真とデータが付されている。B5版、486ページ。

2. 高橋英一 1994. 「根」物語—地下からのメッセージ. 研成社, 東京.

「のぎへんのほん」の1冊として刊行されたもので、根に関する一般的な解説書。根の起源なども含み、全般によく目が行き届いている。内容は、以下のとおり。1. 根と人間のかかわりあい、2. 根の起源、3. 根はなぜ下へ伸びるか、4. 根のすがた、5. 根のはたらき、6. 根と微生物のかかわりあい、7. 根の歩んできた道と将来、B6版、156ページで、定価は1,236円。

3. 清水建美・梅林正芳 1995. 日本草本植物根系図説. 平凡社, 東京.

内容見本によれば、以下のような構成となっているということ。本号が発行になることにはすでに発売となっている予定。図版・解説、総論：第1章 草本植物の木本植物、第2章 一年草・多年草等、草本植物の分類、第3章 根茎・球茎、定根・不定根・塊根、芽、その他、地下器官の類型、第4章 地下器官の寿命、第5章 地下器官と植物の系統、第6章 地下器官と植物の生態。最後に用語解説があるとのこと、A4変形版、264ページで、定価15,000円。